

# 市立美術報 だより

発行

鹿児島市立美術館 〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 TEL(099)224-3400

館蔵品誌上ギャラリー④



オーギュスト・ロダン  
「ユスタッシュ・ド・サン＝ピエール」  
1989年  
ブロンズ  
215.0×76.0×115.0cm

当館玄関正面に悠然と立つこの彫刻は、近代彫刻の礎を築いたあまりにも有名な彫刻家ロダンの作によるものである。素足に下着姿、首に縄を巻いた老人が、重い体をひきずるような前傾の姿勢のまま、前方やや下方を見つめ、足を一步踏み出す。静かな動作と対比する起伏のある衣服の表情や腕に浮き立つ血管の激しさに、死への決意が感じられる。

時は1346年、百年戦争の最中、カレー市は英国王エドワード3世の包囲の中にあつた。王は、包囲を解く条件として、市の最も裕福な6人の市民の人質と、市の城壁の鍵を要求。そこで、市の長老サン＝ピエール以下6人は死を覚悟して赴くが、王はその寛大さで命を奪わなかった。…という史実をもとに、カレー市が、フランス人の勇敢さと英国人の寛大さを讃えた記念のモニュメントをロダンに発注。6人の群像として完成した大作「カレーの市民」の中の中心的人物がこの作品である。

ロダンはこの群像の中で、個々の像とその統一、即ち一人一人の独自の心情の表出や造形性ととともに、群像全体としての強い主題性や調和という相反する要素を追求している。ロダンは、その追求の過程で、裸体や頭部、手などといった数多くの習作を踏まえ、発注を受けてから作品の完成、除幕まで10年の歳月を費やした。この作品のもつ圧倒的な迫力と静かな緊張感は、そんなロダンの長年にわたる執拗なまでの努力に裏付けされたものである。